

(別紙様式) 令和4年度 1人1台端末の活用による実践事例

学 校 名		岡山県立勝山高等学校	
実践者等		水本 謙一	実践日 令和4年10月21日
実践場面 (教科・科目(単元名)、学校行事等)		外国語 英語 I 「ITでのインタビューテスト及び音読テストの実施」	
対象生徒(学年等)		1年次	
育成を目指す資質・能力		☐ 知識・技能 ☒ 思考力・判断力・表現力等 ☒ 学びに向かう力・人間性等	
分類	授 業 中	☒ クラウドやアプリの活用 ☐ デジタルデータの保存 ☐ 思考やデータの可視化	
		☐ データの共有や共同編集 ☐ 対話を充実させる活用 ☐ 思考を促す活用	
		☒ 表現を充実させる活用 ☐ 課題のやり取りと評価の支援 ☐ 効率化や省力化	
		☐ その他()	
	家庭学習	☐ 振り返り ☐ 探究 ☒ 反転学習 ☒ 補習・定着	
実践の内容			
【使用したアプリ等】教科書に掲載されている QR コード 教科書に掲載されている QR コードを読み取ると、文章を発音している音源が再生される。 【育成する資質能力】 ○ネイティブスピーカーと直接1対1で会話することにより、自分の英語が通じる体験をする。 (判断・表現) ○既習の英文について音読できるようになる。(表現力) 【授業】 (1) インタビューテストについて(出席番号1番の生徒から実施) ①事前に15の質問を生徒に示し、自分なりの答えを用意させる。 ②ALTの教員と1対1で面接。15問の中から5問を聞き取り、フルセンテンスで答える。 ③ALTの教員が評価シートに採点し、後日返却する。 (2) 音読テストについて(出席番号が最後の生徒から実施) ①音読する教科書のページを指定する。 ②事前に音読する文章を両面印刷して配付。片面は練習用に読み仮名を振り、もう片面で本番を想定して自主練習を行う。 ③「1. インタビューテスト」の裏でJTEが音読テストを1対1で実施。②の用紙を持参させるが、それとは別の用紙で音読をさせる。 ④採点し、②の用紙に点数を記入し、その場で返却する。 ※自分の順番までの待ち時間では、①友だちと質問しあう、②Chromebookの音声を確認しながら音読練習をする、③2つともテストが終了したら教科書の予習をすすめる、を行うよう指示する。			
【本時と家庭学習との連動】 教科書に掲載されている QR コードを使用して、家庭での音読練習を行うことができる。 また、事前に家庭で音読練習を行い、反転学習につなげることができる。			